



ニュースリリース 平成22年 1月14日

### 地方銀行17行による「カーボンオフセット付きクオカード」の共同購入について ～「地銀住宅ローン共同研究会」企画第4弾～

常陽銀行(頭取 鬼澤 邦夫)は、「地銀住宅ローン共同研究会」に参加する地方銀行16行<sup>※1</sup>とともに、「カーボンオフセット付きクオカード」を共同購入し、地球温暖化防止に取り組みます。この取り組みは、地銀住宅ローン共同研究会の共同企画として第4弾になるものです。

※1 青森銀行、関東つくば銀行、京都銀行、山陰合同銀行、滋賀銀行、静岡銀行、七十七銀行、千葉銀行、西日本シティ銀行、八十二銀行、百十四銀行、みちのく銀行、宮崎銀行、武蔵野銀行、山梨中央銀行、横浜銀行 (銀行名は五十音順)

具体的には、参加する17行ごとに資金を出し合い、CO<sub>2</sub>を合計82.8トン分オフセットできるクオカードを購入します。これは国民一人あたりが1日に排出するCO<sub>2</sub>の13,800人分に相当します。

各参加行においては、共同購入した「カーボンオフセット付きクオカード」を、平成22年4月以降に予定している住宅ローンのキャンペーン<sup>※2</sup>において、住宅ローンを新規にご利用いただいたお客さまへのプレゼントとして使用する予定になっております。

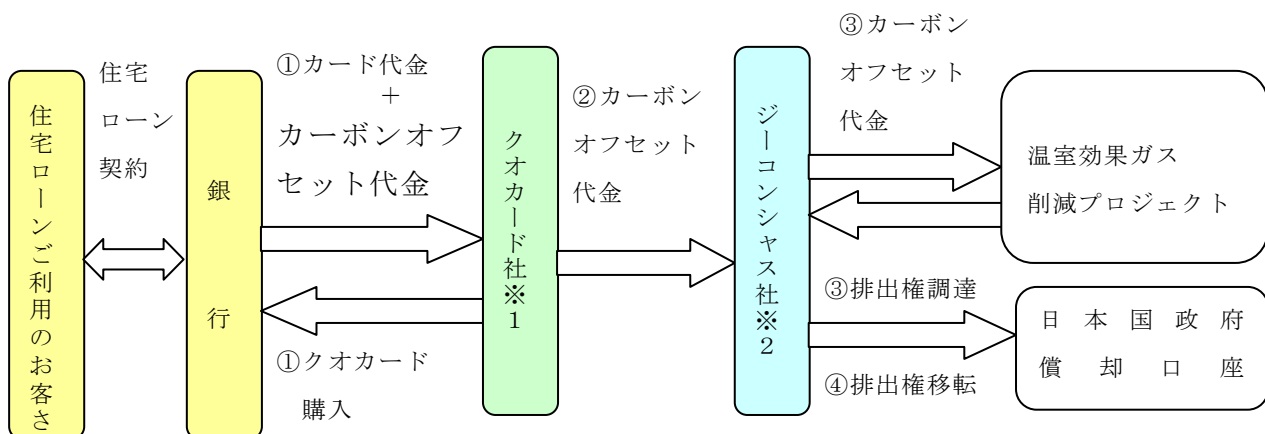
この取り組みにより、住宅ローンをご利用になるお客さまは、間接的に温室効果ガス削減目標に協力できます。

※2 キャンペーンの内容につきましては、詳細が決定次第、各参加行から別途お知らせいたします。

【カーボンオフセットとは・・・】

カーボンオフセットとは日常生活や経済活動において排出されるCO<sub>2</sub>等の温室効果ガスに対して削減努力を行った結果、削減しきれない排出量に見合った温室効果ガス削減活動に投資することを言い、日本国内でも取り組みが拡大している環境活動です。

今回購入するクオカード1枚あたり50円をカーボンオフセットプロバイダー(個人や企業向けに、カーボンオフセットの仕組みを提供する事業を行う団体)を通じて国連が認証したCO<sub>2</sub>削減プロジェクトの排出権購入に充て、日本国政府の償却口座へ寄贈します。その結果、京都議定書で定められたCO<sub>2</sub>削減目標に貢献することになります。



※1 クオカード社: (株)CSKホールディングス(東証1部上場)100%子会社。

※2 ジーコンシヤス社: カーボンオフセットの普及・促進に貢献しているカーボンオフセットプロバイダー。